

各教科の一単位時間の配慮点

	指 導 の 配 慮 点 (授業規律・発問・板書・個別指導・ノート指導等)	評 価 の 観 点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手だて	思考・判断を向上させるための手だて	表現・技能を向上させるための手だて	知識・理解を向上させるための手だて
導 入	<p>(授業規律) 授業開始時の挨拶をきちんとさせ、はじめをつける。 また、本時のねらいを確認し、自分から活動できるよう明確な指示を出す。 CDを聴かせたり、映像を見せたり、生徒がより興味関心をもち学習できるようにする。</p> <p>(板書) 実技等では、その時のポイントを生徒に分かりやすいように板書できるように工夫する。</p>	<p>生徒が興味をもてるように教材を工夫する。</p> <p>授業規律が守れるようにするため、忘れ物には注意を促す。</p> <p>今何をするのかということ全員がはっきり理解できるように、的確な指示を活動前に出す。</p>	<p>思考・判断を向上させるための手だて</p> <p>表現のポイントについて分かりやすく説明し、表現の多様性に気付かせる。</p>	<p>表現・技能を向上させるための手だて</p> <p>本時の目標を具体的に説明し、理解させる。</p> <p>技術が向上するよう身近な教材や意欲をもって取り組めるような練習曲を工夫する。</p>	<p>知識・理解を向上させるための手だて</p> <p>曲について分かりやすく説明する。</p> <p>鑑賞しやすい環境をつくる。</p>
展 開	<p>(実技指導) 一人一人が分かりやすいように、模範演奏などを取り入れながら指導する。必要に応じて個別指導も行い、良い点を指摘していく。</p> <p>(課題学習) 演奏に必要な知識について、ワークシートなどを利用して、その曲に関連付けながら教え理解させる。</p> <p>(授業構成) グループ学習を通してリーダーを中心にお互いに学びあい、教えあい、自ら目標を見つけて学習する態度を養う。</p>	<p>達成感を感じさせられるように、ねらいを明確にして指導する。</p> <p>課題に対して主体的に取り組めるようにする。</p>	<p>表現ができるように楽譜を読めるようにさせる。</p> <p>作曲家の意図を理解できるように説明する。</p> <p>曲想について楽譜を見たり、背景を参考にしたりして考えさせる。</p>	<p>継続して努力できるように励まし、ほめながら技術の向上をねらう。</p> <p>より深く表現できるような教材を選ぶ。</p> <p>自分たちでできていない部分を見つけ、練習できるよう助言をする。</p>	<p>鑑賞では興味を持って聴いたり考えたりできるようにワークシートを工夫する。</p> <p>進んで鑑賞できるような曲や作曲者の時代背景も取り上げて指導する。</p>
ま と め	<p>(実技指導) 今日の復習として演奏し、この1時間の中で上達しているという達成感を味わわせる。</p> <p>(授業構成) 本時のまとめと次回の予定を確認し、次時につながるようにする。</p>	<p>まとめの段階では達成感をもたせられるようにする。</p> <p>自己評価をし、次回への課題を考える。</p> <p>ワークシートを点検し、生徒の現状を把握する。</p>	<p>本時に学習したところを全体で合わせ、他の生徒の表現の工夫を感じ取る。</p> <p>全体演奏での表現の充実感を体感させ、表現の工夫をより深める。</p>	<p>まとめの演奏をし、本時に練習したところを感じ取る。</p> <p>次回、どのように表現したらより良くなるか助言し、次回への目標をもたせる。</p>	<p>学習したところをまとめ、ワークシート、レポートなどで、自分の考えをまとめる。</p> <p>様々な曲に触れ、音楽の知識理解を深め、今後の興味関心につながるようにする。</p>